

THE FINEST
VOYAGE
TOGETHER

ASUKA

CLUB MAGAZINE

ASUKA
CLUB
MAGAZINE

NO. 102

Winter 2021

2021年1月20日発行

発行/郵船クルーズ株式会社 ASUKA CLUB 事務局
〒220-8147 横浜西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー47階 TEL. 045(6)05302
発行人/坂本 深
ホームページ <https://www.asukacruise.co.jp>



春待つを
思いを
のせて。

Special
飛鳥IIの
新しい
クルーズスタイル

Collection
雪国からきた椅子
Essay
東山 彰良
Interview
中村 庸夫
Foodie
30thアニバーサリー
ディナー

ASUKA
CLUB
MAGAZINE

お帰りなさいませ、
新たな飛鳥IIへ。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
私が2019-2020年の年末年始クルーズの際に、
お客様に「2020年を“飛躍の年”にしましょう」と
ご挨拶させていただいてから早一年が経ちました。
新型コロナウイルス感染症は、今までの日常を大きく変えてしまいました。
お客様の笑顔にもお目にかかれずに、
乗組員一同は非常に残念な思いで時を過ごしておりました。
他愛もない会話やふれあいが、
こんなにも生活に彩りをもたらしていたのかとあらためて感じています。
ようやく2020年11月にクルーズ再開に漕ぎつけ、
皆様をお迎えする準備が整いました。
今は少し距離を置かねばなりません、私たちの心はいつもお客様のそばにあります。
まずはスロースタートでクルーズを始めませんか?
お客様を船上で“WELCOME HOME”と
お迎えできる日を楽しみにしております。

飛鳥II 船長 赤松憲光

Norimitsu Akamatsu

January 2021

ひとこと言って
素晴らしい。
感染症対策は
陸海上に関わらず、
国内でトップレベルの
水準です。

— 観光レジリエンス研究所 代表
国土交通省「クルーズの安全・安心の
確保に向けた有識者会議」メンバー
高松 正人さん



私が策定に関わった外航客船クルーズの感染症対策ガイドラインは大変厳格なものです。今回、飛鳥IIのトライアルクルーズに乗船し、その実務を見て感じたのはトップレベルの水準にあるということ。一例を挙げると、お客様が食事をされた後の消毒もガイドラインに定められた通りに模範的に実施されていた。新しいクロスに消毒液をかけて一方向にだけ拭く。絶対に往復させないことで再付着を防げるのです。こういった基本的なところが乗組員ひとりひとりに身についている。今私は日本中の宿泊施設の感染症対策を調査しているのですが、飛鳥IIのオペレーションを手本にしてほしいと思ったほどです。

撮影：斉藤美春

今までと同様に、
クルーズでしか
体験できない本物の
感動をご一緒に。

— ホテルマネージャー
吉田 悟



運航再開に向けて外航客船の感染症対策ガイドラインに沿った訓練を繰り返し行ってきました。また船内にはさまざまな施設がございますので、その施設に沿ったもの。例えばホテル業界や図書館業界、スイミングクラブやフィットネス業界など少なくとも13個以上のガイドラインを確認してそれ以上の水準を目指すように取り組んできました。すべては安心・安全な船旅のために。大海原の時の移ろい、海から眺める美しい日本の風景、私たち乗組員が心を込めて提供させていただきお食事やショーなど。今まで同様、お客様にクルーズでしか体験できない感動を味わっていただくために、乗組員一同準備を整えてお待ちしております。



← 実際に乗船いただいた
お客様の声
をご紹介します。

飛鳥II
新型コロナウイルス
感染症対策プラン

安心・安全な船旅のために

新たなクルーズスタイルとともに、飛鳥IIは船出いたしました。
お客様に安心してご乗船いただけますよう、
私たちは新型コロナウイルス感染予防に万全を期するための対策を行い、
新しいスタイルでも飛鳥クルーズならではの船旅を
お楽しみいただけるよう努めております。

私たちは飛鳥クルーズの再開に向けて「ウイルスを船内に持ち込まない、ウイルスを船内で拡散させない」ために、乗組員・スタッフのひとりひとりが感染症対策について深く学び、トレーニングを重ねるとともに、定期的にPCR検査を受けています。

船内では抗菌・抗ウイルスフィルターを備えた空調システムで常に空気の入替えを行い、徹底した清掃・消毒で船内をいつも磨き整え、船内にコロナウイルスが一切ない、コロナフリーの状況を作るよう努力しています。

また、万一に備えて適切に対応できるよう乗組員の居室配置を整え、診療所に検査チームを設置し体制を強化。

当面の間、お客様もご乗船前のPCR検査を含めた感染予防対策が必要となりますが、何卒ご協力をお願いいたします。

これからも「飛鳥クルーズらしさ」を大切に、広々とした船内をより快適に感じいただける空間を創りあげ、お客様との距離を保ちながらも、心の距離は近づけて、今まで以上にきめ細やかなサービスをご提供してまいります。



↑ おもてなしの心はこれまで以上に。



↑ レセプションでの感染症対策も万全を期しています。



↑ 各スペースの入り口では、手指の消毒をお願いいたします。



↑ お部屋ごとに同テーブルにてお食事をお楽しみください。



↑ ガイドラインに沿った方法で消毒を行っています。



↑ サーマルカメラによる検温を各スペースの入り口で行います。



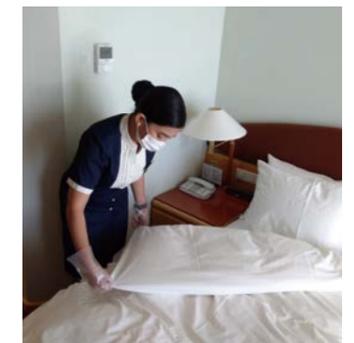
↑ マスクとフェイスシールドでお出迎え。これまで以上に心通うおもてなしを目指しています。



↑ 乗組員はもちろん、お客様もご乗船前のPCR検査が必要です。



↑ 開演前後にシアターの清掃と消毒。ガイドラインを遵守した方法で。



↑ 客室は清掃と消毒を徹底。お客様がいらっしゃる時間に。



セカンドバーサー

菊嶋 晶

ご乗船 いただければ 分かります!

クルーズ再開までの間、私たちは感染症について学んだり、プロから正しい消毒の行い方のレクチャーを受けたりしてきました。飛鳥IIに再び戻ってきてくださったお客様のために、自分ができる最大のことをしたいと思っています。一度乗船していただければ、きっと分かってくさるという、それぐらいのクオリティと自信を持ってお待ちしております!



アシスタントショップマネージャー

土屋奈津美

30周年 記念商品を 企画中です

混雑回避のためショップでは人数制限を始めました。店内が混みあってきたら、外にお並びいただくように誘導いたします。ご不便をおかけしていかないと心配でしたが、「空いていて落ち着いて見られるからいい」とお客様から言っていたただければ、きっと分かってくさるという、それぐらいのクオリティと自信を持ってお待ちしております!



ベルボーイ

エドガー

安心して お過ごし いただけます

通常のベルボーイの仕事に加えて、レセプション周りの消毒も担当するようになりました。新型コロナウイルス対策はお客様と乗組員の安全のために必要なことなので、大変ではありますが、船内は安心して過ごしていただける環境です。飛鳥IIでしか体験できない、エンターテインメントやお食事、それに心からのおもてなしを体験していただきたいです。



ファーストバーサー

吉田匠悟

自慢の 露天風呂が できました

乗組員の健康を守り、お客様を安全にお迎えするためのルール作りを一から行いました。これまでに前例のないことだったので、大変でしたが、できる限りの厳しい対策を行いながらクルーズが再開されて、お客様には安心して楽しんでいただけているという手応えを感じています。自慢の露天風呂など大改装後の飛鳥IIの船内を、まずは楽しんでいただきたいです。



チーフウエイター

レルピン

今は ひじタッチで がまんです!

現在、ソーシャルディスタンスのためにバーカウンターは使用できません。テーブルや席の消毒はもちろん、下げた食器が混ざらないようにすぐに洗うなど気をつけることも増えましたが、お客様の安全のためなので苦ではありません。一年ぶりにお客様にお会いしたのに握手やハグができない。ちょっと淋しいけれど、今はひじタッチでがまんです!



沖原 榮子さん

怖がる 必要はないと 思います

何しろ乗客も乗組員もみな検査を受けているから安心感がありますね。本当は乗船したいけれど心配されている方、怖がる必要はないと思いますよ。とにかく、改装がすばらしい。露天風呂も目の高さに海原があつて最高ですね!イカを蹴つたあの場所が…すごく広く感じましたよ。外の世界は世知辛いですが、飛鳥IIの中で今まで以上にゆったりくつろげました。

お客様の
安心・安全を第一に
新しい
クルーズスタイルで

皆様の お越しを お待ちしております! います!



プロダクションキャスト

ステファニー

新キャストで お待ちしております

今年新しく入ったキャストメンバーが10月に乗船できてようやく全員揃いました。これまで毎日練習を重ねてきましたが、本番のパフォーマンスはやはり違います。お客様の笑顔が見えるし、手拍子などもうれしかったです。最高のパフォーマンスをお届けできるようにキャストも健康に気をつけています。お客様にお会いできるのを楽しみにしています!



ピアニスト

ロティ

音楽の力で 心を 癒やしたい

マリナーズクラブのピアノもアクリルの板で覆われているので、びっくりされるかもしれません。距離は少し離れますが、これもお客様と乗組員の安全のためです。音楽には心を癒やす力があると信じています。飛鳥IIのミュージシャンたちはこれまで以上にお客様の心に寄り添って、クルーズを盛り立てていきますので、ご乗船をお待ちしています!



クルーズスタッフ

宇佐美 怜

三密を避けて 楽しい ゲームを

45分間80人が密集&密接だったゲームをどうすれば安全に楽しんでいただけるか検討しなりました。15分のミニゲームを3つ、位置を移動しながら少人数で楽しむサーキット形式にしてみたり。お客様から「よく考えたね、楽しかったよ」と言っていたき、うれしかったです。乗組員一同これまで以上に心を通わせたおもてなしでお客様をお待ちしています!



アシスタントホテルマネージャー

中谷内圭太

船の安全を 維持するのが 大切

大変だったのはスタッフへの教育です。消毒の行い方も時間をかけてトレーニングしました。船内を安全な状態に維持するのが大切だと感じています。待ちに待って乗船されたお客様から「乗って安心したよ」「ここまでやってくれて」と言っていたき、うれしかったです。船内の対策にはご理解いただけていると感じています。ご乗船お待ちしております!



キャビンステewardess

アイリーン

飛鳥IIに 戻ってきて ください!

これまでのお掃除に加えて、キャビンの中はほぼ全てを消毒しなくてはなりません。8月からトレーニングを重ねてきました。お客様がキャビンにいらっしゃる場合は、フェイスシールドを付けて清掃を行います。これはお互いの安全のため。正直に言うとうと、最初は緊張感の方が強かったです。今は安心して働いています。どうぞ、飛鳥IIに戻ってきてください!



山下 綾子さん

山崎 知恵さん

こんな時 だからより感じる 非日常

母の還暦祝いのサプライズプレゼントで初乗船しました。事前のPCR検査もあり、あちこちで検温&手指の消毒。船内は広々して密じゃない。陸上より安全ですよ。アヴェダがやっていないのが残念でしたけれど(※)、不自由は感じてませぬ。お食事もとてもおいしくて、ティータイムにピアノ演奏とか優雅ですよ。こんな時だからこそ、より非日常を感じます。

2020年11月、約300日ぶりに飛鳥IIはクルーズを再開しました。その間、新型コロナウイルス感染症対策のトレーニングを行ってきたクルーたち。どうすれば安全に、そして快適にクルーズを楽しんでいただけるのか各部門が試行錯誤を続けてきました。実際にクルーズに参加されたお客様は新しいクルーズスタイルをどう思われたのか。そして、クルーはどのような思いで、お客様との再会をお待ちしているのか、取材しました。

(※)アヴェダの一部サービスを再開しました。

カレンダーを飾る天空からの一枚

空撮が捉えるのは飛鳥IIの船上からは見えない世界。「この美しい風景の中で、自分と飛鳥はどう存在しているのだろうか？」そんな想像力をかきたてる一枚。今回はカレンダー写真の撮影でおなじみの海洋写真の第一人者、中村庸夫氏と武弘氏にその知られざる舞台裏を聞きました。

中村庸夫氏の
キャリアは
学生時代の
水中写真から

グ同好会で水中写真に出会ったのが海洋写真の始まりです。バイトをして、船に乗って、沖縄や小笠原へ。その頃に知り合った柳原良平さん（アンクルトリスの生みの親として、また無類の船好きとして知られるイラストレーター）に、「船であちこち行ってるなら、船の写真も撮ってごらん」と言われて。やがて柳原さんの船の雑誌に写真を使ってもらい、他の雑誌からもお声がかかるようになりました。

その後「帆船でポスターを作りたい」という仕事の依頼がきっかけで帆船を撮るようになり、写真集「世界の帆船」にまともな写真が掲載された。これに評判となり、帆船の写真集やカレンダーの仕事が忙しくなりました。ある時、日本郵船が客船を建造しクルーズ事業を開始するから「船をうまく撮る写真家を探している」と船の雑誌の代表から紹介があった。初代飛鳥の写真を撮るようになりまし

空撮は何が
起るかが
わからないから
面白い

庸夫氏―空撮はあらかじ

編集部―まずは海洋写真家の第一人者、お父様の庸夫さんのキャリアをお聞かせください。

庸夫氏―大学のダイビング

め予測できないことが多い。この地形で飛鳥IIがここにいて、太陽がここあってというのはヘリコプターでその場に行つて初めてわかる。だからその場でイメージを組み立てます。また、ヘリポートはどこにでもあるわけではありませんが、離陸地から船までの距離、燃料の量を計算してフライトプランを決めるのです。

アラスカのフィヨルド・トレシーアームで飛鳥IIを撮影した時のこと。チャーターしたヒューズ500というヘリではドアを外して撮影をしようとでも寒い。そこで目的地の近くの海岸の平らな所を探してそこに降り、ドアを外して傍に置き、終わったらまたドアを回収して戻ります。わずかな時間の撮影のためにトータル3時間の飛行です。

このフィヨルドの一番奥に氷河が流れ込んでいるのですが、飛鳥IIが氷河のところまでUターンする時刻をあらかじめ聞いていて、「もし時間が10分以上前後するなら連絡ください」と伝えていたのですが何かの手違いで連絡が届かなかった。こちらは予定通りドアを外して向かったら、飛鳥IIはもうとつとUターンしてフィヨルドの出口近くまで来ていました。あと数分遅れていたら何も撮れなかった。でもその結果、壮大なフィヨルドを背景にした飛鳥IIの写真が撮れたのです。つまり、空撮はその場でいろんな条件を判断して最大限の努力をするしかない。だからこそ、予期せぬ一枚が撮れるとも言えます。

親から子へと
継承する
海洋写真への
思い

たのでしょうか？
武弘氏―物心ついた頃から父の仕事は間近で見えていました。家族旅行が撮影の仕事がらみでしたから（笑）。

父と同じく特に写真の勉強をしたことはありません。写真家には写真が好きで写真家になる人と、被写体が好きで写真家になる人がいる。後者が父の考えでもあるし、伝承といえばそれでしょうか。

海洋写真はその場での瞬時的な対応が必要で、父は手取り足とりではなく、経験で学ぶために比較的早く立ち立ちをさせてくれました。

カレンダーの
写真を
楽しみにして
もらえる

庸夫氏―撮影が終わって船に挨拶に行った際に、お客様とお話することがあるんです。「ああ、あなた中村庸夫さん？毎年カレンダー楽しみだよ」とか、「あの写真を見て、ぜひ世界一周したくて申し込んだんだよ」と。それはもう写真家としては嬉しいかぎりですね。

今後の飛鳥IIに期待すること？もう少し出入港を明るい時間にしてほしいことかな（笑）



撮影・新田由起子

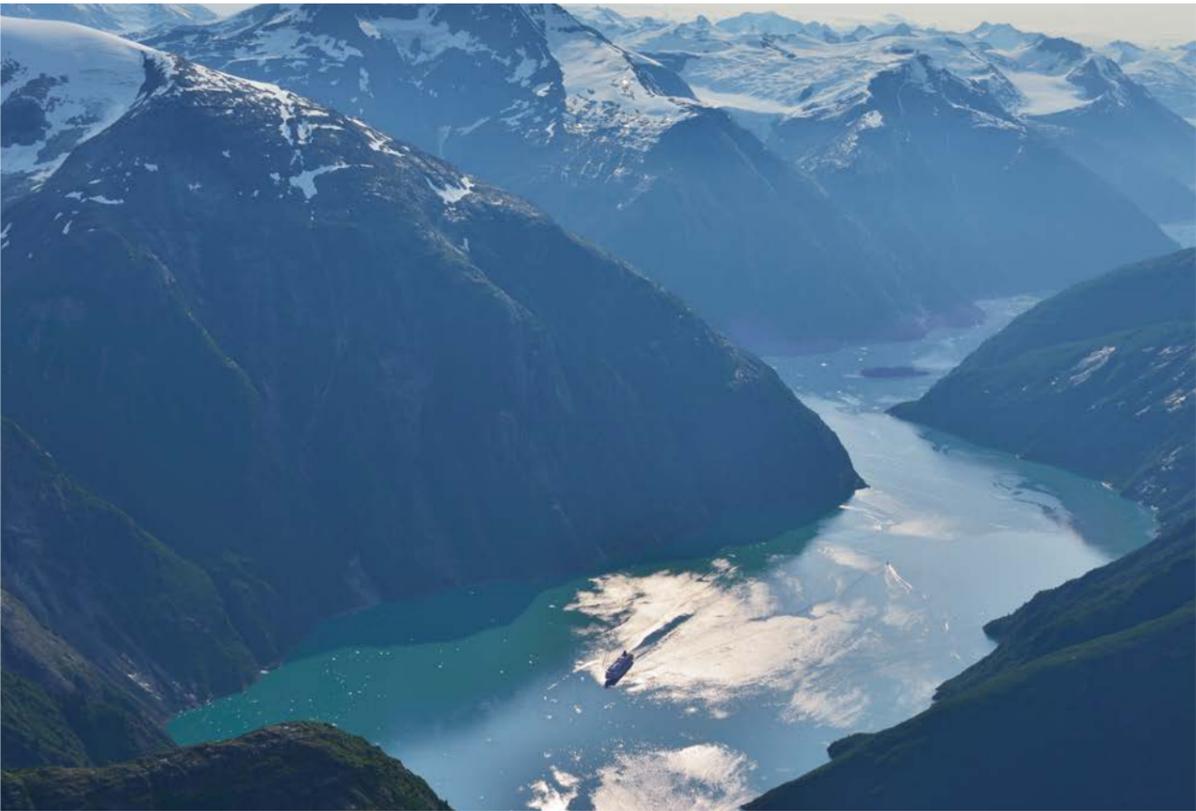
中村庸夫

なかむらつねお
1949年東京生まれ。30年以上の間、毎年6ヶ月以上を海外取材に費やし、北極から南極まで、七つの海を旅しながら写真を撮り続けている。帆船や豪華客船の写真では世界の第一人者。クジラ、イルカ、ペンギンなど海洋生物の写真集も多い。



中村武弘

なかむらたけひろ
1979年東京生まれ。海洋写真家。海の自然や水族館、船などを撮影。磯や干潟は長年テーマとしている。日本写真家協会（JPS）会員。日本自然科学写真協会（SSP）会員。



アラスカ・トレシーアーム

空撮はあらかじめ予測できないことが多い。この地形で飛鳥IIがここにいて、太陽がここにあるというのはヘリコプターでその場に行つて初めてわかるのです。



南極大陸・コウテイペンギン



コウテイペンギンの親子



帆船・海王丸

日程／6月7日(月)～13日(日)7日間

寄港地／横浜→下関→長崎→鹿児島→横浜

旅行代金／365,000円～1,650,000円 ※アスカクラブ10%特別割引(Kステートを除く)

九州をぐるり
桜島の雄大さに
心も晴れ晴れ

幕末の歴史の舞台となった港町を巡ります。下関からは対岸の門司で、レトロな町並みを散策したり、長崎では洋館や大浦天主堂を観光するのもおすすめです。鹿児島入出港時には桜島の雄大な姿もお見逃しなく。



日本周遊
ダブル
乗船割引



ご乗船のお客様は
「日本周遊Dコース」が
10%Off

course
B

日本周遊Bコース

横浜発着

西国漫遊クルーズ

Special Feature 2

7日間のクルーズを
2本乗り継ぐと
ニッポンを
ぐるり再発見!

「日本周遊Bコース」に
ご乗船のお客様は
10%Off



日本周遊
ダブル
乗船割引



日程／7月4日(日)～10日(土)7日間

寄港地／横浜→函館→苫小牧→釧路→横浜

旅行代金／348,000円～1,486,500円

函館の夜景も
ゆったり
北海道を満喫

夏の北海道を7日間で満喫するクルーズ。函館では新鮮な海の幸に舌鼓を打ち、夜景もゆったり楽しめます。昨年オープンしたアイヌ文化に触れる観光施設「ウボポイ」や、釧路湿原への寄港地観光ツアーもご用意。

日本周遊Dコース

横浜発着

夏の北海道クルーズ

course

D

日本周遊Aコース

神戸発着

新緑の九州めぐりクルーズ

日程／5月6日(木)～12日(水)7日間

寄港地／神戸→別府→長崎→八代→神戸

旅行代金／365,000円～1,650,000円 ※アスカクラブ10%特別割引(Kステートを除く)

異国情緒漂う
長崎で
海外旅行気分

九州の魅力一杯の7日間。日本随一の温泉地別府で地獄めぐり、長崎からは季節の花々が咲き誇るハウステンボスへ足を延ばし異国情緒を楽しむのはいかがでしょう。八代からは復興する熊本城へのツアーも。

course

A



日本周遊
ダブル
乗船割引



ご乗船のお客様は
「日本周遊Cコース」が
10%Off

セブンデイズ ニッポン知新

クルーズが再開され、お客様からは「また飛鳥IIで長めのクルーズにも乗りたい」という嬉しいお声をかけていただいています。

まずは国内ショートクルーズからスタートして一步一步、
安心を積み重ねながら、4月末から1週間程度のクルーズが始まります。

- ◎日本周遊の4コースでは、アニバーサリーディナーがお楽しみいただけます。(A・BコースとC・Dコースではメニューも変わります)
- ◎寄港地観光ツアーは別料金・定員制になります。
- ◎詳しくはHPまたは商品パンフレットをご覧ください。

「日本周遊Aコース」に
ご乗船のお客様は

10%Off



日本周遊
ダブル
乗船割引



日本周遊Cコース

神戸発着

初夏のみちのく・函館クルーズ

course

C

日程／6月24日(木)～30日(水)7日間

寄港地／神戸→八戸→函館→宮古→神戸

旅行代金／348,000円～1,486,500円

風わたる初夏
自然の中で
癒やされる

みちのく・北海道の豊かな自然に触れるクルーズ。八戸からは貸切タクシープランを利用して奥入瀬溪流へ。清らかな流れと鳥たちの歌声に心が洗われます。宮古からは三陸を代表する景勝地、浄土ヶ浜へも足を延ばせます。

海が見える露天風呂を体験した人は多いでしょう。でも、海が動く、風景が変わる露天風呂の魅力を知る人は多くはありません。朝の日の出、昼のきらめく波、夜の灯りに浮かぶ湯船。朝に昼に晩に、飛鳥IIの露天風呂を堪能する日。そんな、何もしない日常も海の上では思い出になるはず。



海が、風景が変わる
贅沢な露天風呂を
とことん
堪能したい。

朝昼晩に露天風呂

露天風呂のご紹介

ご利用時間はアスカテイリーにてご確認ください。停泊及び入出港の時間帯はご利用になれません。気象、海象状況により営業時間が変更になる場合がございます。



大海原を眺めながらの
ワーキングなら
いいアイデアも
浮かびそう。

洋上でワーキング

飛鳥知新

Illustration by Kimura Keiko

在宅勤務で思考もマンネリ?ならば仕事を飛鳥IIに持ち込んで、洋上のワーキングはいかがでしょう? おすすめの場所はブックラウンジ e-Square。大海原を眺めながらPCを開けば、フレッシュなアイデアが浮かぶはず。気分転換には船内アプリで、アスカテイリーやお食事メニューのチェックも。

施設のご紹介

e-Squareは11デッキのパームコートからつながる開放的な空間。なお、Wi-Fi環境には制約がございます。現在、オンラインミーティングには適応しておりません。

昼下がりの部屋飲み

冷えたシャンパンで
乾杯した後は、
お喋りにする?
それとも読書?



午前中をアクティブに過ごした日は、ルームサービスを頼んでお部屋でランチはいかがでしょう? その日がクルーズデーなら、お昼からお酒もあり。冷えたシャンパンで乾杯した後は、お喋りにする? それとも読書? 何もせずにお昼寝もわるくない。のんびりお部屋で過ごす午後の始まりです。

ルームサービスのご紹介

軽食やフルーツ、ソフトドリンク、海彦のお寿司やお酒などを客室でお楽しみいただけます。詳しくは客室備え付けの「ルームサービスのご案内」をご覧ください。なお、メニューにより提供時間が異なります。



※写真はイメージです。

新しい時代の生活スタイルにも、
ここではポジティブに付き合える。

飛鳥IIで過ごす新しい
ひと時をご提案します。

「一日に映画4本!」なんて、ちょっとした映画評論家みたい。飛鳥IIでは、お部屋のテレビにVOD(ビデオ・オン・デマンド)が備えられ、好きな時間に好きな映画が楽しめるようになりました。ハリウッドシアターでは毎日2本の映画を上映。好きな映画とお勧めの映画。何を観るか迷いそう。

VODとハリウッドシアターのご紹介

客室のテレビでお好みの映画やドラマが選択できるVOD。ハリウッドシアターでは名作や話題作など、大スクリーンでご堪能いただけます。



大きなスクリーンで、
お部屋のテレビで。
見逃した名作にする?
それとも話題作?

今日は一日映画三昧

雪国からきた椅子

Collection 2

飛鳥の
美しい
かたち

飛鳥には、
さまざまなが、
さりげなく
息づいています。
その背景にある
ストーリーを知れば、
確かめてみたく
なるはずです。

改装されたプレミアダイニング「ザ・パール」。
特別なレストランだからこそ特別な椅子をお客様をお迎えしたい。
北海道の職人さんが心を込めて作りました。



↑ 肘掛けのヤスリがけも丁寧に



↑ 美しい曲線に職人の技が光る



↑ 道具もこのために特別に作られた



↑ 暗い場所では重厚に、光をうければ軽やかに。椅子に張られた青の布地は光の加減でさまざまに変化します。



Chairs
made
by
**Oakland
Furniture**
Photograph
by
Taishi Sakamoto
Kazuhisa Natori

2019年12月、私たちは北海道夕張市栗山町の家具工房を訪れました。気温は零下5度。空気は美しく澄んで、静かに舞い散る雪が、風に吹かれると細かな結晶となってキラキラと輝きます。

暖かな工房の中では、プレミアダイニング「ザ・パール」の椅子が作られていました。木材を削り、組み立て、ヤスリをかけ、ニス塗り、生地を張る。この全ての工程を職人の手で行います。その頃、飛鳥IIは改装工事のためにシンガポールへと向かう直前。「大丈夫、ちゃんと納期までにシンガポールに送れますよ」とオークランド工房の増田雄平社長は笑います。



一脚、一脚、丁寧に。全てが手作業で進みます。

凍としてピアノのような美しさを感じさせるハイバックチェアの骨組み。

木材を削っていた職人さんは「ホテルの特注家具は何度も手がけたけれど、客船はまだ特別だね。実を言うと飛鳥IIはまだ見たこともないんだ。でも、この椅子たちは飛鳥IIと一緒に世界中を旅するのか」と目を細めました。

特にデザインにこだわったのが、海を望むコンパートメントに置かれるハイバックチェア。試作品から肘掛けの角度をさらに変更して、繊細で女性的なフォルムを生み出しました。レストランの奥には、丸いフォルムの青いチェアが並びます。生地に張られた柔らかなビロードは海のように見る角度によって青の色が変わり、上品で落ち着いた雰囲気をつくります。

雪国の家具工房で作られた椅子たちは、今宵飛鳥IIの船上でどのような夢の舞台を作ってくれるのでしょうか。一新されたプレミアダイニング「ザ・パール」へ、ぜひお越しください。



← 静かに雪が降る夕張の工房で大切に作られたハイバックチェアが、飛鳥IIの夢の舞台へ旅立っていきました。





食事は船旅の大きな楽しみの一つ。かねてより国内外の食通を唸らせてきた日本郵船の客船。その伝統を継承する飛鳥IIの「美食」を巡ります。



黒毛和牛ヒレのポワレ朴葉焼き
発酵マスタードを添えて

一週間発酵させた自家製マスタード

朴葉に包まれ香りがついた黒毛和牛のヒレ

濃厚なマデラソースとともに

付け合わせにはパンプキンのシュエを

30周年 アニバーサリー ディナー

西口総料理長のライフワーク「からだに良くておいしいフレンチ」ここに極まる。お客様への心を込めたプレゼント。

飛鳥クルーズは2021年10月に就航30年を迎えます。昨年の11月月末で飛鳥IIを下船した西口総料理長が、就航30周年を祝ったアニバーサリーディナーで腕を振るいました。

「からだに良くて、おいしいフレンチ」をライフワークとしている西口総料理長。このコロナ禍に、お客様の健康を願って100種類以上の栄養素をバランス良く取り入れた免疫力アップをテーマとするフレンチディナーを考案しました。日本の旬の食材や海外の高級食材を厳選し、日本料理の技法も使ったまさに、西口総料理長の集大成とも言える新しいフレンチが完成したのです。

「前菜からデザートにいたるまで全てのメニューに免疫力アップが期待される食材を使用しています。良質なタンパク質にミネラル、食物繊維、発酵食品など100種類以上です」と西口総料理長。一皿、一皿、贅沢な食材がふんだんに使われ、味はもちろん目にも美しい。お料理が運ばれてくるたびにどのテーブルからも静かな感嘆の声がもれます。久しぶりのフレンチのフルコースに、レストランでお食事をする喜びがこみあげてきます。

「一本釣りした答志島の鱈はめったに市場に出回らないもので、10月から3月は脂ののった旬の季節。カナダ産のオマールエビと東シナ海のアワビには自家製の肝醤油とボルチーニ茸のソースをかけて贅沢に仕上げました。メインの黒毛和牛のヒレは、シャリアピンステーキの製法を使ってオニオンとレモンでマリネした上に和食で使う朴葉を巻いて焼き、自家製熟成マスタードとマデラソースで味付けました」
お客様に安心してお食事を楽しんでいただくために最も良い方法は何か、ギャレーとレストランでは試行錯誤を繰り返しております。以前のように、ご家族やお友達と大勢でテーブルを囲むにはもう少し時間がかかるかもしれませんが、今はお客様の健康が第一です。スタッフ一同、フォーシーズン・ダイニングルームで皆様にお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

Nishiguchi Masahiro

飛鳥IIなら
安心して
お客様に思っ
ていただき
たい

30th Anniversary Dinner

オマール海老とアワビのグリルを自家製肝醤油と抹茶ムースで

地鶏の八丁味噌マリネをお皿に散らしたトリュフオイルパウダーで食べるスープ

30品目の食材を使った前菜 答志島の鱈は葉物の下に

メレンゲのドームを崩すと中には乳酸菌のアイスと林檎のカラメリゼ